

概要

両腕と両足首、両足趾の血圧を測定し、脈波を記録することで、足の血管の硬さや狭窄・閉塞の程度を調べる検査です。

検査方法

両腕、両足首、両足趾に血圧計のカフ、両手首に心電図の電極、胸の上に心音マイクを装着します。5分程度安静にいただいた後、血圧・脈波の測定を行います。

検査で分かること

主に2種類の項目について調べています。

1. CAVI（心臓足首血管指数）

血管の硬さの指標であり、動脈硬化が進むほど値が高くなります。

2. ABI（足関節上腕血圧比）・TBI（足趾上腕血圧比）

足の血管の狭窄・閉塞の程度の指標であり、狭窄・閉塞が進むほど値が低くなります。

注意事項

- ・透析用シャントや手術後などで片方の腕の血圧測定が禁じられている場合、担当技師にお伝えください。血圧測定が禁じられている腕は避けて検査させていただきます。
- ・上半身の衣服は二の腕あたりが薄手の1枚程度になるように脱いでいただきます
- ・両足の親指に血圧計のカフを装着するため、靴下は脱いで素足になっていただきます。
- ・弾性ストッキングやサポーターなど強い締め付けのあるものは脱いでいただきます。

所要時間

約15分程度

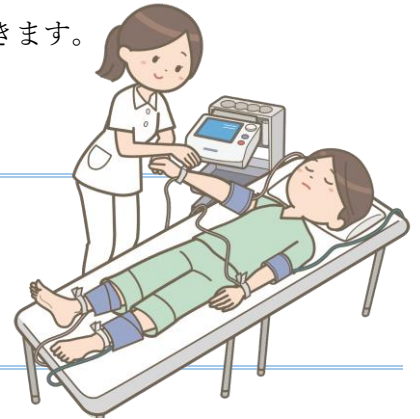
よくある質問

Q：検査中は、動かない方が良いですか？

A：動いてしまうと正確に測定することができないため、測定中は動かず、安静をお願いします。また、心音マイクに雑音が入らないように、できる限り声を出さないようにお願いしています。ただし、血圧測定の際に痛みを我慢できない場合は担当技師にお伝えください。

Q：何度も測定することがありますが、なぜですか？

A：心音マイクや血圧計のカフの装着加減によっても測定値に影響があるため、調整させていただいた後、再度測定する場合があります。



Q： 検査の体勢は決まっていますか？

A： 基本的にはベッドに仰向けに寝ていただき、手足を伸ばして検査を行っています。体を起こした状態や足を曲げた状態では血圧が変化し、正確に測定できない可能性があります。そのため、できる限り手足を伸ばして仰向けでの検査をお願いしていますが、困難な場合は担当技師にお伝えください。

Q： 普段、血圧が高いと言われますが、検査に影響はないですか？

A： 血圧が高くても検査に影響はありません。血管の狭窄・閉塞の程度は腕と足の血圧の比で評価しています。